

ニューイヤーを輝かす、ウィーンの響きと
「新世界交響曲」

21世紀の新世界

—ワルツ! ポルカ! の響きとともに—



J.シュトラウスⅡ

- ：オペレッタ「こうもり」序曲
- ：ポルカ「シャンペン・ポルカ」op.211
- ：ワルツ「皇帝円舞曲」op.437
- ：ワルツ「美しく青きドナウ」

ドヴォルザーク

- ：交響曲 第9番 ホ短調
「新世界より」op.95

[指揮] 瀬山智博

[管弦楽] 関西フィルハーモニー管弦楽団

2021 1/9 (土) 2:00pm開演 (1:00pm開場) ザ・シンフォニーホール

A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円 (消費税込) 主催/朝日友の会、ABCぴあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール 11/29(日)発売

- アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]
- ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00(火曜定休)]
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード: 188-602]
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード: 53949]
- CNプレイガイド 0570-08-9990
- E+(イープラス) <https://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ 検索 携帯サイトはこちら
<http://abc-ticket.pia.jp/>



ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000
[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

座席について 左右1席ずつ間隔を空けて座席を販売しております。



- ご来場前に、体調不良(発熱や倦怠感など)および感染症陽性の方との濃厚接触がある方は、入館をご遠慮ください。
- ご来場の際は、マスク着用の上、咳エチケット、手洗い、手指の消毒をお願いします。
- なお、入り口にて検温を実施する場合がございます。37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。
- 詳しくは、〈ABCクラシックガイド〉のホームページをご確認ください。

21世紀の新世界

—ワルツ! ポルカ! の響きとともに—

世界的に重苦しい空気につつまれた2020年。2021年の年明けで気分一新を! 新年の幕開けを飾る「21世紀の新世界」がウィーンのリズムと「新世界交響曲」の響きで、暗雲垂れ込める世界に明るい光をお届けします!

今回の指揮者は、すっかりお馴染みとなった大阪出身ウィーン在住の瀬山智博。関西フィルとの5度目の共演で、さらに堅固となったタッグでウィーンのニューイヤーコンサートさながらの華やかなプログラムをお届けします!

前半は「ワルツ王」、ヨハン・シュトラウスⅡ世プログラム。新年に相応しく「『こうもり』序曲」で煌びやかに幕を開け、続く「シャンペン・ポルカ」は身体が自然と動き出しそうな陽気な2拍子で軽快に。そして「皇帝円舞曲」の重厚感溢れる優美なメロディーをお楽しみいただいた後は、人気の高い「美しく青きドナウ」。敗戦で暗く沈んでいたウィーンの人々を励まそうと1867年に作られたこの曲。ウィーンに住み欧州で多くの研鑽を積む瀬山智博が躍動感溢れる本場ウィンナ・ワルツのリズムを華麗にそして優しく私達の心に注ぎ込みます。

ウィーンの空気に満たされた後は、「新世界交響曲」! ドヴォルザークが新世界から過去を超え未来を思い描いたように、新年への期待と希望を込めてお届けします。

〔指揮〕 瀬山智博

Tomohiro Seyama, Conductor



© Gerhard Peyrer

大阪府豊中市出身。3歳よりメキシコで音楽教育を受け始め、大阪音楽大学ピアノ科、ウィーン国立音楽大学指揮科を卒業。指揮を湯浅勇治、小澤征爾、ファビオ・ルイジなど各氏に師事。2006年イタリアのシエナ・キジアーナ音楽院にてオーケストラ指揮ディプロマを取得。ウィーン国立音楽大学在籍中にはウィーン楽友協会合唱団のメンバーとして研鑽を積み、コレペティートルとしても活動。2009年ドイツのアーヘン市立歌劇場のコレペティートルを務め、同年ウィーンのシェーンブルン宮殿歌劇場でモーツァルトの「ドン・ジョヴァンニ」を指揮してヨーロッパデビュー。オーストリアのプレゲンツ音楽祭、トリノ王立歌劇場にてアシスタント指揮を務める。2016年ドイツのマグデブルグ市立歌劇場のカベルマイスター(専属指揮者)として活動。その他ドイツのデッサウ・アンハルト州立歌劇場、スイスのヴァンタートゥール歌劇場などの歌劇場で指揮を務め、オペラとシンフォニーの両分野において国際的な活動を続けている。シカゴのゲオルグ・ショルティ国際指揮者コンクールセミファイナリスト、プザンソン国際指揮者コンクールファイナリスト。

〔管弦楽〕 関西フィルハーモニー管弦楽団

Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2018年より公益財団法人化。関西を代表する楽団の一つとして文化・社会への貢献を目指し積極的に活動を続けている。平成6年度大阪文化祭賞本賞、平成22年度大阪文化祭賞奨励賞を受賞。世界的ヴァイオリニストでもあるA.デュメイは08年より首席客演指揮者を務め、11年楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は00年より正指揮者を務め、07年首席指揮者に就任。飯守泰次郎は01年より常任指揮者を務め、11年桂冠名誉指揮者に就任。『ヒューマニズム』をテーマに聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開。また地域密着を重視、活動に明確なビジョンを持ち挑戦し続ける個性派楽団として、ますます好評を博している。15年5月から6月にかけて、3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催、各地で大きな注目を集めた。2020年には楽団創立50周年を迎えた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」に藤岡幸夫と共に出演中。



© s.yamamoto

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>